

祝 GANEF060周年

衆議院議員

河野 太郎

日本が東京オリンピックの開催に向けて沸き立っていた1963年に、インドネシアのスカルノ大統領が自国の首都ジャカルタで GANEF0、新興国競技大会を開催しました。

その前年にジャカルタで開催されたアジア競技大会に、スカルノ大統領がイスラエルと中華民国の選手団にビザを出さなかったことが問題となり、インドネシアはIOCから資格を停止され、ここからインドネシアがアジア・アフリカ諸国に呼びかけこの新興国競技大会を開催するに至りました。

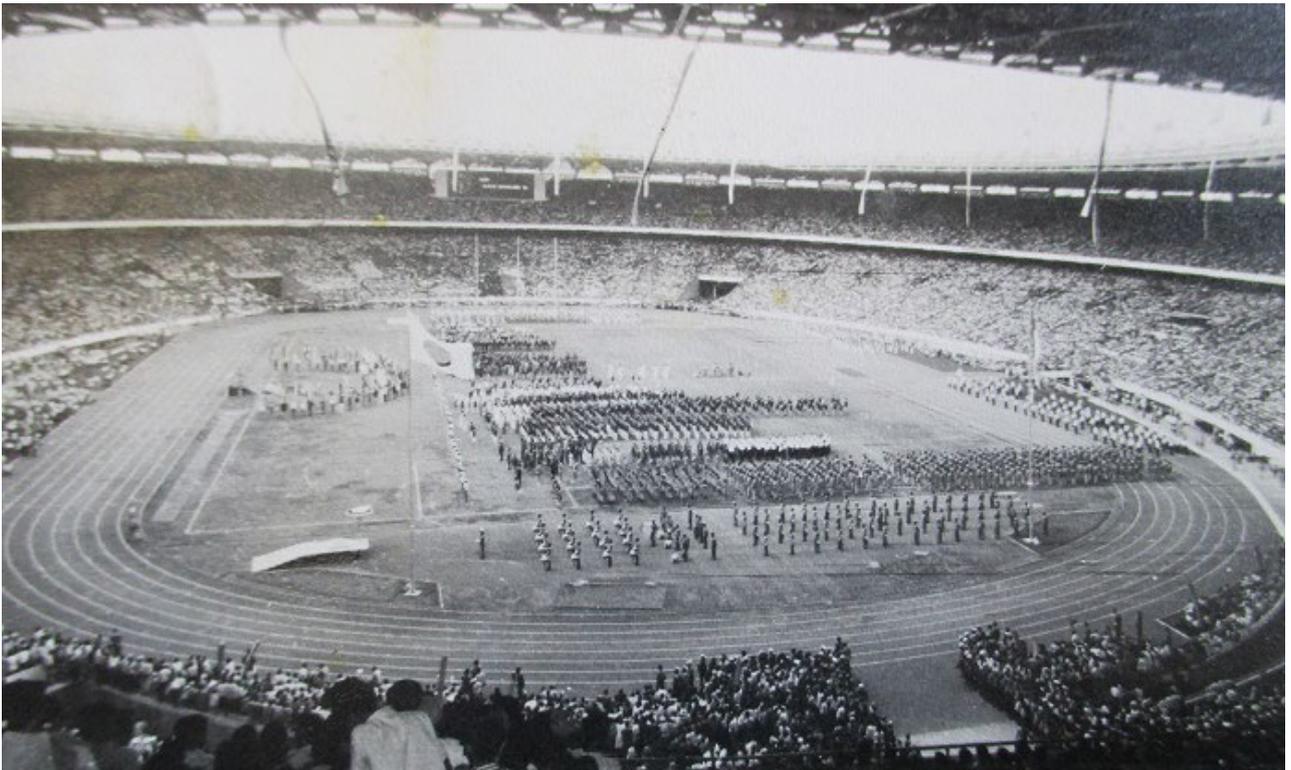
国際陸上競技連盟、国際水泳連盟など複数の国際競技連盟（IF）は各国の競技連盟に対し、非加盟国と競技を行うことは、IFのルールに違反することになる旨を通告し、GANEF0に参加した選手に対しては資格を停止すると警告を発しました。IOCも国際陸上競技連盟などの規則遵守の姿勢を支持するという通達を各NOCに発しました。

そんな中水球では、日本水泳連盟を脱退したチームがGANEF0に出場したそうです。東京オリンピックを控え、さまざまな意見があるなかで、決意を持って日本代表として参加した選手の皆さんの記録が残され、また、交流が続いてきたことを知って、感動しております。

日本がGANEF0に参加したことで、インドネシアとの国家間の良好な関係も維持されることになりました。その後もインドネシアとの友好関係は続き、本年6月には天皇皇后両陛下もインドネシアを訪問されまし

た。往時の若者の思いや行動をしっかりと後世に伝えていくことは誠に意義深く、これも皆様の60年間のご努力のおかげであります。

その後もモスクワオリンピックのボイコットや、今日のロシアのウクライナ侵略を受けて、スポーツと政治の関係をどうするべきか、議論は続いております。皆様の活動が今後とも語り継がれていくことを祈念いたします。



ガネフォ開会式